

都道府県警備業協会 各位

一般社団法人 全国警備業協会

重大労災事故事例 (No. 26)

(被災区分)

重傷

(被災者の属する企業)

所在都道府県	従業員数
広島県	964名

(被災者)

性別	年齢	経験年数	警備業関係取得資格
男	67	1年	なし

(被災状況)

事故発生日時・天候	令和 6 年 11 月 28 日 (木) 午後 2 時 0 分頃 天候 晴
事故発生場所 (国・県道等の別)	広島県三原市 県道49号線
当事者	被災警備員
事故の概要	<p>当事者は、同僚警備員4名とともに、公道(資格者配置路線ではない)において、工事車両の交通誘導警備業務に従事していた。</p> <p>当事者が配置場所のT字路で車両誘導をしていた際、2方向から工事車両が、もう1方向から一般車両が進行してきたため、後方に下がったところ、高さ50cm程度の側溝に左足から転落したもの。</p> <p>その後、連絡を受けて現場に駆け付けた会社関係者により搬送され、病院で受診したところ、左足アキレス腱断裂により、全治3ヶ月と診断された。</p>
現場略図	現場略図省略
教訓事項	<ol style="list-style-type: none">1 現場周辺の危険個所の確認を業務開始前に把握しておく。2 「止める」「進めさせる」等の誘導業務をはっきりと適正に行う。3 慌てず落ち着いて誘導する。
今後の対策	<ol style="list-style-type: none">1 業務開始前に、配置する現場周辺の危険箇所を確認し、関係者全員で共有する。2 複数の箇所から車両が進行してきた場合の誘導方法を訓練する。3 本事故および上記教訓事項を関係者へ周知、教育するとともに、管理者等が巡察等で現場に訪問した際には、本教育内容が実践されているか確認する。
備考	